

謝辞

旭川市立愛宕東小学校 PTA、広報部部長を務めております宮田と申します。
今日はこのような素晴らしい表彰式にお招きいただきましてありがとうございます。
受賞校を代表致しまして御礼を申し上げます。

また、北海道知事賞・北海道新聞社賞というたいそうな賞を頂きまして、本日は旭川市から P T A 会長がかけつけておりますが、PTA メンバーだけでなく、校長先生を始め学校職員皆がとても喜んでるところであります。

私が PTA 役員として活動し 7 年目、広報部として活動して丸 4 年が経ちました、時代も目まぐるしく変化する中、教育活動も PTA を取り巻く環境も変化しております。
本校の広報部におきましても今年大きな変化がありました。具体的には広報誌での個人情報取り扱いも強化し、今年度からはスマホでの写真撮影を自粛しております。

これまではご本人の了承を得て、わたしは自分のスマホで撮影することもありました。

広報誌を作成する為には数多くの写真が必要です。
携帯電話の性能も上がりキレイな写真が手軽に簡単に撮影できるようになったからこそ、写真の取り扱いには注意が必要だという観点から見直しを図った事柄でございます。

今年度からは、

1 枚の写真を撮るのに学校に確認し、学校のカメラを借りに行き、本人の了承を得て撮影。
その後は、先生が写真を確認して、OK が出れば学校からデータを送ってもらうという数多くの工程を取ります。

勿論、自分のスマホで撮影するよりも、正直手間や時間をかかります。

ですが、P T A 活動は誰もが安心して活動ができることが最も大切です。広報紙はその活動を伝え「自分も参加してみようかな」と興味関心を持っていただけるアイテムのひとつです。
情報を大切に扱うことも大切な仕事で、一定のルールやマナーを守りながら作成していくことが大切だと実感した 1 年でした。

そんな中で、今まで以上に仲間と協力して作り上げたこと、今まで以上に学校との連携をしっかりと、情報の正確性含め何度も何度も何度も修正を重ね、確認しながら広報紙の印刷が完了した日には、関わってくださった方々への感謝の気持ちと達成感で満ちあふれたことを今でもはっきりと覚えています。

先月、平和の祭典ミラノオリンピックが閉幕致しました。

私は浅田まおちゃんが大好きだったことから、ずっと女子フギュアスケートを楽しみにしています。今年は日本人の活躍が素晴らしく、銀メダル・銅メダルを獲得した2人の選手には早朝朝早くからテレビの前で大きな拍手を送りました。

ある日本人選手は金メダルが取れなかったことを悔やみ涙している中、金メダルを取ったアメリカのアリサリウ選手は最後に言いました。

「メダルは必要ない。順位は重要ではない。楽しむこと、仲間を大切にすることが1番だと」私も含めて、どうしてもメダルの色や評価を気にしてしまいましたが、オリンピックではどの競技も精一杯楽しみ、それをお互いに認め合い励まし合い、称え合う姿を私たちに届けてくれました。

きっと1番大切なことは、子育ても含めて、子どもと関わる時間を楽しむこと、PTA活動を楽しむことなのだと気づかされました。

こんにちのこの気持ちを大切に、来年度も日本の子供たちが輝けるようPTA活動を精一杯楽しんで活動していきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。